

■院内褥瘡対策委員会

1. 2016年度の目標及び方針

はじめに

本委員会は、超高齢化社会において問題となっている「褥瘡」の院内発生減少、早期治癒を目的に活動している。現在、日本においては全ての入院患者に対し褥瘡対策を実施する事が入院基本料の算定条件であり、国際的にも医療の質評価項目 (quality indicator) として褥瘡発生率が求められているなど、病院の質向上だけではなく財務においても重要な役割を持つ委員会である。

1. 方針

褥瘡の予防と早期治療に向けた取り組みをおこなう。

入院基本料算定要件を満たすための活動をおこなう。

2. 目標

1) 入院基本料算定要件を満たすための活動を実施する

入院基本料算定要件クリアに向けた記録・システムの整備と運営

2) 病院職員の褥瘡に対する知識向上に向けた勉強会を実施する

院内褥瘡対策セミナーの実施

3) 2度以上の褥瘡推定発生率 1.5%未満

2. 2016年度評価

1) 入院基本料算定要件を満たすための活動

入院基本料算定要件に必要な記録の仕組み作り、各関連部署との調整、カルテテンプレートの新規作成を実施し、2017年4月より新たな運用開始に向けての準備と記録のテンプレート及び記録フローを作成した。総務課からの依頼を受けて、年1回の定期的な院内褥瘡危険因子評価立案数、診療計画書立案数、ステージ毎の褥瘡発生数など褥瘡対策に係る報告(厚生労働省報告事項)をおこなった。

2) 病院職員の褥瘡に対する知識向上に向けた勉強会の実施

2017年2月 全職員を対象とした勉強会を企画、実施した。

3) 褥瘡推定発生率

□度以上の褥瘡推定発生率:1.60%と褥瘡発生率は全国平均より高い傾向にあった。

※ADL維持向上等加算算定要件である□度以上の褥瘡推定発生率は 1.5%未満である

3. 年間活動内容

1) 委員会開催

毎月第2月曜日 部長会終了後実施

内容:各委員からの活動報告、褥瘡発生率のモニター、褥瘡患者カルテカンファレンスの実施

2) 褥瘡回診の実施 (毎月第1月曜日午後)

褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定要件クリアに向けての準備として2014年度より褥瘡回診を実施している。

3) 病院職員への褥瘡知識の啓蒙活動

外部講師による講演会を実施した。

4. 実績

1) 委員会の開催:11 回開催

カルテカンファレンスの実施と問題事例については病棟へのフィードバックをおこなった

2) 褥瘡回診実施状況: 患者 10 人を対象とし実施した。回診を通して現場スタッフへの指導をおこなった。

3) 講演会の実施

2017 年 2 月 6 日(月) 18 時～19 時 K12 ホライゾンホールにて

テーマ「褥瘡と栄養管理」

講師:ネスレ日本 脇崎希望氏

参加人数:72 人

5. 学術関係 (褥瘡関連発表)

なし

文責:看護管理部 佐藤理子